

デジタルアーキビスト養成講座2017 第4回 「アーカイブづくり実践講座2」

県立長野図書館共催「信州発 これからの図書館フォーラム」
アーバンデータチャレンジ 2017長野拠点イベント
@まちなかキャンパスうえだ

2017年9月10日

企画 長野大学

前川道博 企業情報学部教授（メディア環境学）
市川正夫 環境ツーリズム学部教授（信州学）

アーカイブ現地実習

- ・ 鹿教湯温泉・斎藤ホテル土蔵と所蔵資料を見聞
- ・ それらの一部をデジタル化する実習を実施



明治期の斎藤旅館当主斎藤弥惣太は1881(明治14)年、製糸場「旺業社」を創業した。斎藤家土蔵には近現代の資料が数多く残っている。実習ではこれらの資料の背景を探ると共に一部をセレクトしデータ化する。
協力: 鹿教湯温泉・斎藤ホテル + 斎藤繁子さん

実習テーマ:その時代を現前化するアーカイブづくり

- **その時代を現前化するアーカイブづくり 地域に埋もれている地域資料をデータ化する**
- **実習概要**
 - 斎藤ホテル土蔵にある資料(明治～昭和初期の新聞等)の中から受講者各自が興味ある複数の記事をピックアップし、そのデジタル化とメタデータを作成する。
- **メタデータの内容**
 - それは何の記事であるか、なぜそれを選んだのか、どこにその価値があるのか、など客観的情報に加え、選者の視点・関心もアーカイブする。
- **記事のデジタル化の方法**
 - デジカメ、スマホで記事部分を接写し画像化する

本実習でのアーカイブ構築のアプローチ

- ・ アーカイブサイト『信州記事アーカイブ』を新規構築
- ・ カテゴリ「新聞記事から見える信州の近現代」
- ・ カード 新聞記事に対応したトピック単位に作成
- ・ メタデータの作成に主眼を置く
- ・ 協働でアーカイブを作成するため、平易な入力フォーム
を用いてカードを作成する
- ・ カードのデータはサイトに集約し即時的に公開する
- ・ データはオープンデータとして公開する

実習で持参するもの

- ・ **用意するもの**

- ノートパソコン WiFiでつながる
- デジカメ(スマホ、タブレットでも可)
- カードリーダー等
(ノートパソコンに画像等を取り込むインタフェース)

実習での持物管理

- ・ **当日の日程**
 - 10:00 まちなかキャンパスうえだ集合
 - 出席者確認後、マイクロバスで実習会場(鹿教湯温泉斎藤ホテル)に出発
 - 13:40 まちなかキャンパスに戻り撮影等の実習
- ・ **ノートパソコン等はまちなかキャンパスで保管**
 - 会場を施錠して出発します。
 - 実習会場へは必要なもの(デジカメ、スマホ等)と貴重品をご持参ください

アーカイブ実習・タイムテーブル

講師:前川道博、中村完二郎(カンプロ) アシスト:朝倉久美(上田高校・学校司書)

<午前／現地実習>

10:00 マイクロバス乗車、出発(まちなかキャンパス前)

10:05 (1)車中でミニ講義と交流アイスブレイク

受講者交流アイスブレイクと交流 朝倉

10:40 (2)鹿教湯温泉・斎藤ホテル・蔵と資料の見聞 協力:斎藤繁子さん

12:00 《60分昼食休憩》辰巳屋、鹿教湯交流センター(お弁当持参の方)

<午後／制作実習>

13:00 マイクロバス乗車、出発(鹿教湯交流センター駐車場)

13:00 車中でミニ講義と情報交換

参加者で情報交換・フリートーク 朝倉

ミニ講義 データ作成の方法とポイント 中村

13:40 まちなかキャンパス着

13:45 実習内容説明 前川

14:00 実習(60分+50分) 前川+中村

15:00 《10分休憩》

16:00 参加者の発表、作成したアーカイブ紹介+講評

16:45 講評+まとめ 前川+中村

17:00 終了